



doinel journal

January, 2016

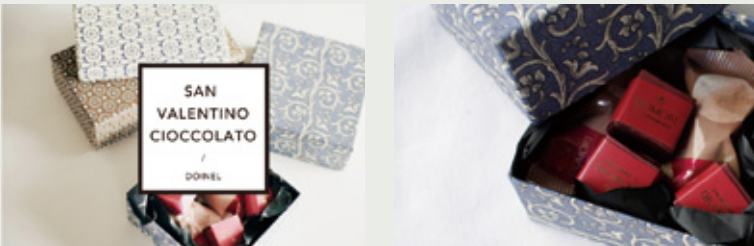
Take Free

Sale at doinel winter 2016 *Flea market*

年明け2016年1月7日(木)から、doinel 冬のセール/蚤の市を開催します。
キッチン周りのリネン類やインテリア雑貨などを中心に、
北欧ヴィンテージのテーブルウェアなどもお値打ち価格でご紹介予定です。
会期中でアイテムの追加も予定していますので、ぜひお立ち寄りください。

info. by doinel

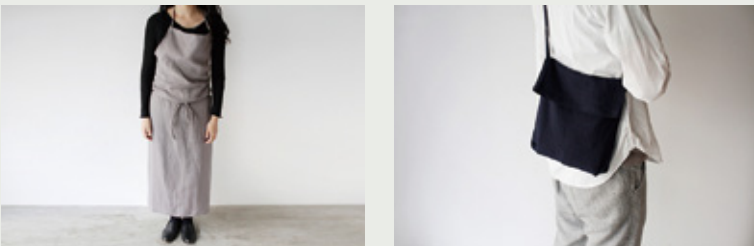
“San Valentino”



doinelのバレンタインフェア「San Valentino」、今年も1/30(土)からスタート予定です。親しい人や大切な人に気持ちを込めてギフトを贈りたいバレンタインデーはイタリアが発祥と言われています。doinelではイタリア・DOMORI社のチョコレートと、フィレンツェのファインペーパー・Carta Vareseを使用したオリジナルボックスによるギフトをご提案しています。良質なカカオを用いたDOMORI社のチョコレートと伝統的な色柄のCarta Vareseのボックスは、質の高さとカジュアルさを併せ持ち、大人の気軽なギフトに最適。ステーションナリーなどdoinelセレクトのアイテムとの組み合わせもおすすです。ぜひギフト選びをお楽しみください。

vetements et accessoires

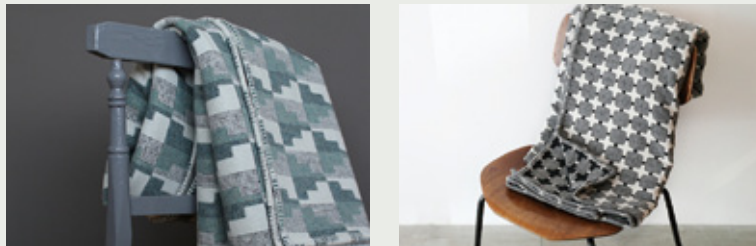
doinel original “Linen Apron / Linen Shoulder Bag”



フランスのビストロやワインバーなどで広く使用されているヴィンテージエプロンをモチーフに製作した、リネン100%のdoinelオリジナルエプロンが完成しました。カラーは深いネイビー、幅広いインテリアなじむグレー、深いホワイト。細い紐、長い着丈や背面まで覆う身幅など、機能面だけでなく美しい姿を意識して、細部までこだわって作り上げました。ブラウジングして好きな長さに調節したり、ユニセックスで幅広い体型の方に着用していただけます。同素材のグレーとネイビーで、気軽なショルダーバッグもご用意しています。

look at

Eleanor Pritchard “Half Blanket 150×90”



イギリスのテキスタイルデザイナー エレノア・プリチャードのブランケット、この冬はdoinel別注のハーフサイズブランケットが届きました。ミッドセンチュリーの美学や哲学に影響を受け、イギリスの伝統的なテキスタイルを今の時代に合わせて再解釈するなど、彼女が培ってきた知識やセンス、色彩感覚が生かされたブランケット。ハーフサイズはリビングで膝掛けにしたり、脚元のペットカバーとして使用するのにちょうどいいサイズ。目を引く個性と落ち着いた存在感が共存する、上質なプロダクトです。

new arrival

doinel×高貴ファーム“Dried Fruits Box-set”

福岡県糸島の高貴ファームで低温乾燥で作られるドライフルーツを、carata vareseを使用したdoinelオリジナルの箱にセットしました。無農薬栽培のいちじくと極減農薬栽培の枝付ぶどう(巨峰)を使用。青果で販売できるものを取ってドライにしたもので、フレッシュな風味が生きています。ぶどうはセミドライで食感と濃厚な甘みをお楽しみいただけます。doinelの自然派ワインと共に、ギフトにもおすすです。



doinel standard

doinel original “Glass Flask Vase”

理化学ガラスの平底フラスコを元に、本来長い首をカットして製作していただいた、doinel別注の花器です。空間を歪ませる透明の球体は、いつもの室内を少し新鮮に見せてくれるようです。インテリアの傾向を問わず何を挿してもさまになる軽やかな存在感で、ギフトにも最適。根を伸ばしたアボカドの種などを乗せて、花器の中の根を楽しむのもおすすです。2サイズご用意しています。



My favorite ○△×

My favorite “Signe Persson-Melinのピッチャー”

コーヒーを飲むときもお茶を飲むときもSigne Persson-Melinのピッチャーを使っている。土器のように厚ぼったい持ち手にさりげなく施されたエンボスの葉っぱ柄。このポテッとした佇まいがなんだか愛嬌があっかわいらしい。眺めているだけで幸せな気持ちにさせてくれる。それに加え、用途にぴったりの働きをしてくれるのがこのピッチャー。入る分量、注ぎ口の傾斜に加え、冷蔵庫に入る高さや他の食器との相性も完璧である。ある日、事件は起こった。不慮の事故によりひびが入ってしまったのだ。それは突然過ぎる別れだった。その愛らしい姿はもう元には戻らないと思うと血の気がじわじわ引いてきて、クラクラして立ってられないほどの大きなショックが変わった。今は大抵のものがAmazonのワンクリックで手に入る。しかしこの手作りのピッチャーはそうはいかない。愛情が深ければ深いほど傷は深い。こんなにも愛してさえいなければ、こんな大きな悲しみはやってこなかったのに。そもそも壊れてしまうものに対して大きな愛情を持たなければよいのではないかと。陶器はいつかは割れるもの、そ



う心して日々使うべきだったのだろうか。走馬灯のようにあれやこれや考えが頭をよぎる。気づけば日常の作業が手につかなくなっていた。これはいかん。私は目の色を変えて探しに探し続けた。そしてその執念が実を結び、ついに2代目を手に入れた。私にとっては決して安価なものではないが、その購入に迷いはなかった。断捨離だとかミニマリストといったようにものを持たないことに幸せを見出すことに関心が高まっている中、私のこの強烈な執着心は一体何なのだろうか。このピッチャーを使うとき、私は幸福感に包まれる。

📍 折井 枝里子 (ORI DESIGN / グラフィックデザイナー)

1984年生まれ。武蔵野美術大学卒業後、印刷会社勤務を経て、独立。このdoinel journalのデザインや撮影をはじめ、サイトなどのdoinelのビジュアル作成を担当。doinel以外にも店舗のグラフィックやパッケージデザインなど、子育ての傍ら行っている。

doinel

[location]

3-2-9 Kita-Aoyama, Minato-ku, Tokyo 107-0061

It is 3 minutes' walk from Gaienmae Station of Ginza Line to doinel.

Open 12:00 - 20:00

Closed Wednesday

[contact]

tel +81-(0)3-3470-5007

info@doinel.net

📍 a_doinel

📍 doinel

